

認定特定非営利活動法人

2017年 9月号

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール:yomawarinokai@gmail.com

http://otsu-yomawarinokai.org/

# 大津夜まわりの会ニュース

特集

## 2017 夏休み どもひまわりの家

ことしも明るい笑顔があふれる日々でした！

参加者は過去最多

計7回に延べ189人(1回あたり27人)

ボランティアも延べ67人(1回9.6人)

大津夜まわりの会が毎年開催している子ども学習支援事業「2017 夏休みどもひまわりの家」。ことしは予定の8回のうち1回が台風襲来に伴う大雨警報発令でやむなく中止となりましたが、他の7回は当初の計画通り実施できました。参加児童は1年生から6年生まで延べ189人(昨年は8回167人)、1回平均29人(昨年21人)で、過去最多を数えました。先生役を担ったボランティアの学生・生徒さんの数も実数で



午前の学習タイム。「しっかり勉強してますか〜？」

30人(昨年20人)、7回の延べ人数で67人、1回あたり9.6人(昨年延べ46人、1回5.7人)と、こちらも新記録でした。

### ★ ★ 特別活動「おもしろかった!!」 ★ ★

裏面のスケジュール表のように、午前の学習、午後の特別活動、昼食の手伝い、食器洗い、ボランティアの“先生たち”との「お話しタイム」、「おやつタイム」、日記などが日課で、人気は午後の特別活動です。みんなで障害福祉サービス事業所を訪れ、紙染めなどを体験したり、地元的美術家ご夫妻から白地のうちわに思い思いの絵を描く「マイうちわ」の指導を受けたり…。

「大津百町館」などの見学や、滋賀大教職グループの学生さんによる楽しいゲーム、地域福祉サポーター「とんかち」さんの「おもしろ工芸教室」、市民劇団 O2 劇場の皆さんによる演劇ワークショップ、県国際交流員さんとの国際交流など、ふだん、学校生活では経験できない活動を体験。みんな目を輝かせて取り組み、「おもしろかった」と好評でした。



「とんかち」さんによる工芸。みんな上手につくれたかな？



お昼ご飯も班ごとに。「おいしいね！」

一方、「先生」役を担ってくれたボランティアの学生・生徒さんたちも大活躍。児童たちにとって先生と同時に憧れのお兄さん、お姉さんとして楽しくコミュニケーションを深めたり、時にはふざけ過ぎる子に手を焼いたりしながら、真剣、懸命に「どもひまわりの家」を支えてくれました。

最終日には地元膳所学区で「膳所ども食堂」を運営する人たちと合流し、「ども食堂」手づくりのかやくご飯などをいただきました。「どもひまわりの家」が地域に根を下ろしてきたあらわれと言え、うれしい限りです。(裏面にスケジュール表など)

「2017 夏休みどもひまわりの家」は一人親や共働き家庭の児童らに学習機会や居場所を提供し、友だちづくり、思い出づくりを援助するとともに「貧困の連鎖」を防ぐための学習支援事業で、平成29年度滋賀県子ども未来基金の助成を受け、大津市、大津市教委、大津市社会福祉協議会の後援を得ました。また事業費のうち自己負担分は「つかいみちを選べる募金」でいただいた善意の寄附金を充当しました。



食器洗い。みんなで分担してきれいにしました！



大津百町館の見学。冷たい井戸水にびっくり!!

2017 こどもひまわりの家 全日程

	①7・25 (火)	②7・28 (金)	③8・1 (火)	④8・4 (金)
参加者	児23人、ポ10人	児28人、ポ9人	児23人、ポ9人	児32人、ポ10人
午前	学習	学習	学習	学習
午後	障害福祉サービス事業所「瑞穂」見学、おやつ・お話しタイム、日記	安土優先生による「マイうちわ」作り、おやつ・お話しタイム、日記	大津町家「大津百町館」、大津祭曳山展示館見学、おやつタイム、日記	滋賀大教職サークル GETS さんの楽しい時間、おやつ・お話し、日記
	⑤8・8 (火)	⑥8・18 (金)	⑦8・22 (火)	⑧8・25 (金)
参加者	台風5号に伴う大雨警報発令中のため、中止	児29人、ポ8人	児28人、ポ9人	児26人、ポ11人
午前		学習	学習	学習
午後		とんかちさん「おもしろ工芸」、龍大生ジャグリングとマジック、おやつタイム、日記	〇2劇場さんによる演劇ワークショップ、おやつ・お話しタイム、日記	県国際交流員プリンカさんとの交流、おやつ・お別れお話しタイム、日記

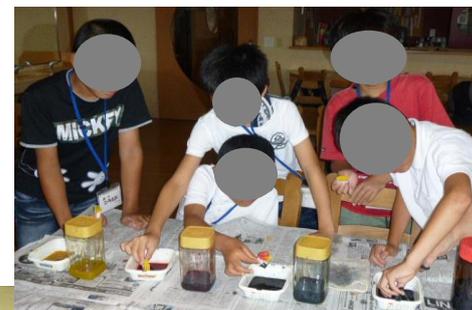
いろんな体験で楽しい思い出  
深まった友だちとの絆 先生とのコミュニケーション



(写真右上) みんなの「マイうちわ」素敵です (右中) 色染め体験に熱中してま〜す! (右下) 班で力を合わせてゲームに挑戦だ (左上) 演劇ワークショップ。みんなで何を表現してるのかな? 花火でした (左下) ブラジルのお話! みんな興味津々



(いずれも特別活動の1シーン)



(保護者から)「家で1人にさせておくより、すごく安心なので、仕事をしている間の心配事も減り、たいへん助かりました」  
「家庭ではできないことを体験させていただき、良い思い出になりました」  
「お弁当を用意しなくてよく、適温で昼食がいただけるというのは、とてもありがたかったです」  
「時間を決めてメリハリがあり、勉強も教えて頂けたので助かりました」  
「子は、人がたくさんいたので、勉強が進まなかった、と言っています」  
「初めて参加させましたが、いろいろなことを体験させていただき、子どもたちも楽しそうでした」  
「話しながらおやつを食べるのが楽しかったそうです」  
「今後も続けてもらえたら、多くの子どもたちにとって貴重な時間になると思います」

アンケートより

(ボランティアから)「こうしたボランティアは初めてだったが、元気いっぱい小学生にふれあうことができ、逆にパワーをたくさんもらえて良かった」  
「班の子たちが協力し合っているのを見て、とても意味のある催しだったのではと思いました」  
「学年の違う人や大学生と一緒に活動するだけでなく、普段体験できない活動も行い、子どもたちには良かった」  
「1人では宿題をやらない子どもたちが、みんなと時間を決めてやることでコツコツやる子がいいたのは良かった」  
「勉強や課外活動など、意義あるものがたくさんあった」  
「勉強に集中しない子への指導が十分ではなかった」